

- 問1 アフリカ諸国に多く見られる「モノカルチャー経済」の特色と課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する構造であり、国際価格の影響を受けにくい安定した経済である。 | 2. 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。 | 3. 複数の農産物や工業製品をバランスよく輸出することでリスクを分散しており、世界不況の影響を受けにくい構造である。 | 4. 輸出の大部分を機械類や自動車などの工業製品が占めており、国内総生産（GDP）は欧米諸国と同水準にある。 |
|---|---|--|--|
- 問2 熱帯や亜熱帯の地域で見られる、かつての植民地支配下で形成された、輸出を目的として特定の商品作物を大規模に栽培する農業形態を何というか、名称を答えなさい。（2018年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------------|---------------|-----------|
| 1. 焼畑農業 | 2. モノカルチャー経済 | 3. ブランテーション農業 | 4. オアシス農業 |
|---------|--------------|---------------|-----------|
- 問3 世界地図上の北アフリカ地域に位置し、ナイル川流域を中心に発展してきた国があります。この国の歴史的背景と現代の産業の特徴を組み合わせた説明として、最も適切なものを選択してください。（2017年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 地中海と紅海を結ぶ運河を建設してイギリスから独立し、現在は世界最大の綿花輸出国となっている。 | 2. イギリスの支配から独立した後、一貫して農業中心の経済を維持しており、鉱産資源の産出はほとんどない。 | 3. イギリスからの独立後、スエズ運河を国有化した歴史を持ち、現在は石油・天然ガスの資源に恵まれている。 | 4. 19世紀までオスマン帝国の支配を受けていたが、独立後は豊富な石炭資源を背景に重化学工業が発展した。 |
|---|--|--|--|
- 問4 アフリカ州のナイジェリアにおける輸出品目の構成について述べた次の文の空欄にあてはまる、同国の経済を支える主要な鉱産資源を答えなさい。「ナイジェリアの輸出統計において、輸出総額の約82.3%という圧倒的な割合を占めているのが（ ）であり、これに次いで液化天然ガスが約9.9%となっている。」（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|---------|-----------|
| 1. 原油 | 2. 綿花 | 3. コーヒー | 4. ダイヤモンド |
|-------|-------|---------|-----------|
- 問5 ガーナやコートジボワールなど、ギニア湾沿岸に位置する西アフリカ諸国において、植民地時代にヨーロッパ諸国から持ち込まれたカカオなどの特定の農作物の生産と輸出に、国の経済が大きく依存している状況を何と呼びますか。（2024年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|---------------|------------------|---------|
| 1. モノカルチャー経済 | 2. ブランテーション農業 | 3. 公正貿易（フェアトレード） | 4. 緑の革命 |
|--------------|---------------|------------------|---------|
- 問6 北アフリカの地中海沿岸に位置する都市の統計において、気温が7月ごろにピークを迎え、6月から8月の降水量が極端に少なく、冬の時期に一定の降水が見られる気候が確認されました。この都市で見られる農業の特色として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 一年を通して高温多湿であるため、天然ゴムやカカオのプランテーションが作られている。 | 2. 夏の乾燥に強いオリーブやぶどう、オレンジなどの果物栽培が盛んに行われている。 | 3. 降水量が極めて少なく樹木が育たないため、わずかな草が生える地域で羊の放牧が行われている。 | 4. 夏の豊富な降水を利用して、平野部を中心に稲作が大規模に行われている。 |
|--|---|---|---------------------------------------|
- 問7 アフリカ西部のギニア湾に面するコートジボワールでは、国の輸出額の多くをカカオ豆などの特定の農産物に依存しています。このように、少数の特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を何といいますか。（2021年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|--------------|---------------|
| 1. 持続可能な経済 | 2. 輸入置換型工業 | 3. モノカルチャー経済 | 4. ブランテーション農業 |
|------------|------------|--------------|---------------|
- 問8 アフリカ大陸北端などの温帯地域に見られる、夏に乾燥し、冬に一定の降水がある気候区分を何といいますか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|---------|----------|
| 1. 西岸海洋性気候 | 2. 地中海性気候 | 3. 砂漠気候 | 4. サバナ気候 |
|------------|-----------|---------|----------|
- 問9 アフリカ大陸の気候帯の構成に関する記述として、統計上で熱帯が約39%、乾燥帯が約47%と大陸の大部分を占めていることを踏まえ、この大陸の気候の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 乾燥帯が最も広い面積を占めるが、標高の高い地域には広大な寒帯が分布している。 | 2. 赤道付近から高緯度地域まで広がるため、亜寒帯から熱帯までの全ての気候帯が存在する。 | 3. 温帯が大陸の大部分を占めており、南北の両端にわずかに熱帯が見られる。 | 4. 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。 |
|---|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問10 アフリカ大陸の南端に位置する国で実施されていた人種隔離政策（アパルトヘイト）が、1990年代前半に廃止された後の社会的な動きについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 白人による政治的支配を継続するため、周辺諸国との国境を封鎖して鎖国体制をとった。 | 2. 欧州連合（EU）に加盟し、ヨーロッパ諸国との経済的な統合を最優先する政策に転換した。 | 3. ネルソン・マンデラが同国初の黒人大統領に就任し、人種間の和解と共生が進められた。 | 4. 人種差別を禁止する代わりに、特定の農産物のみを栽培するモノカルチャー経済を導入した。 |
|---|---|---|---|
- 問11 世界の国々の産業を比較した統計において、カナダ、エジプト、ニュージーランドなどと比較した際、金鉱の産出量が年間180トンを超え突出して多く、かつ羊の飼育頭数も約2400万頭と非常に多い数値を示している、アフリカ大陸最南端に位置する国はどこですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------------|--------|-------------|
| 1. エジプト | 2. ニュージーランド | 3. カナダ | 4. 南アフリカ共和国 |
|---------|-------------|--------|-------------|
- 問12 西アジアの国々の中には、輸出総額の大部分を原油などの特定の一次産品が占めている国が多く見られます。このような経済構造を持つ国々の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 1. 国際価格の変動が激しいため、国内の財政や経済が不安定になりやすい。 | 2. 特定の産品に特化することで、製造業が発展し、高度な技術力を持つ労働者が育成されている。 | 3. 工業製品の輸出割合が高いため、先進国との経済格差が急速に縮小している。 | 4. 輸入額が輸出額を常に下回るよう管理されており、国際情勢に関わらず景気が安定している。 |
|--------------------------------------|--|--|---|
- 問13 1960年代以降のアフリカにおいて、人口が著しく増加した理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 教育が普及したことで若年層の出生率が低下し、高齢者の割合が急増したため。 | 2. 経済発展にともなって先進国からの移民が急増し、労働力人口が大幅に増えたため。 | 3. 医療の発達によって死亡率が大幅に低下したが、出生率は高いまま維持されたため。 | 4. 食料の増産によって出生率が急激に上昇し、それと同時に死亡率も上昇したため。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。	ナイジェリアの原油やザンビアの銅のように、輸出の7割以上を特定の1品目に頼る傾向があります。このように輸出の中心が資源に偏っているため、自国の努力だけではコントロールできない世界情勢や国際価格の変動によって、国の収入が激減するリスクがあります。また、こうした国々は先進工業国と比べて国内総生産（GDP）が低いことが一般的です。
問2	答え 3 プランテーション農業	熱帯・亜熱帯地域において、欧米諸国などの植民地支配を背景に、先進国の資本や技術を取り入れて開発された大規模農園のことを指します。自給用ではなく、国際市場での販売を目的とした「商品作物」を生産することが最大の特徴です。
問3	答え 3 イギリスからの独立後、スエズ運河を国有化した歴史を持ち、現在は石油・天然ガスの資源に恵まれている。	エジプトの歴史と産業に関する複合的な理解を問う問題です。エジプトは1922年にイギリスから独立した後、1956年にスエズ運河を国有化して自国の管理下に置きました。これは地政学的に極めて重要な出来事です。また、エジプトの現代産業においては、ナイル川流域の農業だけでなく、近年発見・開発が進んでいる石油や天然ガスが経済成長の大きな柱となっており、工業化の原動力にもなっています。
問4	答え 1 原油	ナイジェリアはアフリカ最大の人口を抱える国であり、ギニア湾沿岸で産出されるエネルギー資源の輸出に大きく依存しています。輸出額の8割以上を占める原油と、それに続く液化天然ガスなどの化石燃料が、同国の外貨獲得の柱となっています。
問5	答え 1 モノカルチャー経済	多くのアフリカ諸国では、かつての植民地支配の影響により、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造が形成されました。この仕組みは、特定の作物の国際価格が暴落したり、天候不順で不作になったりした際に、国全体の経済が非常に不安定になるという大きな課題を抱えています。
問6	答え 2 夏の乾燥に強いオリーブやぶどう、オレンジなどの果物栽培が盛んに行われている。	気温が7月に高く、その時期に降水量が極端に少ないという特徴は、北半球の地中海性気候であることを示しています。この気候下では、乾燥する夏に適応した「硬葉樹」と呼ばれる葉の硬い樹木や、耐乾性のある果物の栽培が行われる地中海式農業が発達しています。稲作は夏の水分が必要であり、カカオは熱帯、放牧（ステップ気候）は乾燥帯の説明です。
問7	答え 3 モノカルチャー経済	アフリカの多くの国々では、かつての植民地支配の影響により、特定の農産物や鉱産資源を輸出用に生産する仕組みが残されました。この構造は、国際価格の変動が国の経済に直接大きな影響を与えるという課題を抱えています。
問8	答え 2 地中海性気候	アフリカ州の地中海沿岸で見られるこの気候は温帯に属しており、夏は亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響で乾燥し、冬は偏西風や前線の影響で雨が降るという、他の温帯気候にはない特徴を持っています。これに対し、サバナ気候は熱帯で雨季と乾季がある気候、砂漠気候は乾燥帯の気候です。
問9	答え 4 熱帯と乾燥帯が大陸の大部分を占めており、亜寒帯や寒帯は存在しない。	アフリカ大陸は赤道を挟んで南北に対称に近い形で広がっており、低緯度地域が面積の多くを占めるため熱帯の割合が高くなります。また、北部にサハラ砂漠、南部にカラハリ砂漠などの広大な乾燥地域を持つため、乾燥帯が全大陸の中で最も高い割合を占めます。地理的に高緯度地域を含まないため、統計上、亜寒帯（冷帯）や寒帯が全く存在しないことが大きな特徴です。
問10	答え 3 ネルソン・マンデラが同国初の黒人大統領に就任し、人種間の和解と共生が進められた。	アパルトヘイトの廃止後、南アフリカ共和国では全人種が参加する初めての総選挙が実施されました。その結果、長年反アパルトヘイト運動に取り組み投獄されていたネルソン・マンデラ氏が大統領に選ばれ、異なる人種が共生する「虹の国」を目指した国づくりが始まりました。これにより、国際社会への復帰も果たしました。
問11	答え 4 南アフリカ共和国	アフリカ大陸の南端に位置する南アフリカ共和国は、金やプラチナ、クロムといった希少な鉱産資源が豊富に産出される世界有数の鉱業国です。また、広大な土地を利用した企業的な牧畜も盛んであり、羊などの飼育頭数が多いことも特徴です。行政上の首都はプレトリアに置かれています。
問12	答え 1 国際価格の変動が激しいため、国内の財政や経済が不安定になりやすい。	原油や鉱物資源などの一次産品は、国際的な需要や社会情勢によって価格が大きく変動する性質があります。輸出総額の大部分をこれらの産品に頼っている国では、価格の下落が国家収入の減少に直結するため、工業製品を主軸とする先進国に比べて、景気が外部の要因に左右されやすく不安定になるという課題があります。
問13	答え 3 医療の発達によって死亡率が大幅に低下したが、出生率は高いまま維持されたため。	アフリカでは、1960年代以降に衛生環境の改善やワクチンの普及といった医療の発達が進み、それまで高かった死亡率が大幅に低下しました。一方で、多産を重んじる文化的な背景などから高い出生率が維持されたため、死亡する人よりも生まれる人の方が圧倒的に多くなり、人口が急増する結果となりました。食料不足は、この急激な人口増加に供給が追いつかないことで発生する「課題」であり、人口増加の直接的な「原因」ではない点に注意が必要です。